

裁判所刑事裁判事務ハ前橋區裁判所ニ於テ之ヲ取扱フ

明治二十六年十二月二十日

司法大臣芳川顯正

○司法省告示第九十三號

札幌地方裁判所廳舎新築落成ニ付本月十七日假廳ヨリ移轉ス

明治二十六年十二月二十日

司法大臣芳川顯正

○農商務省告示第二十一號

第十七回獸醫免許試驗並第十七回蹄鐵工免許試驗ノ舉行地及期日左ノ通之ヲ定ム試驗出願者ハ來明治二十七年一月申地方廳ヲ經由シテ其願書ヲ農商務大臣ニ差出スヘシ

明治二十六年十二月二十日

農商務大臣伯耆後藤象二郎

第十七回獸醫免許試驗舉行地及期日

明治二十七年四月十七日

熊本縣下 熊本

同 年五月十五日

秋田縣下 秋田

同 年六月七日

東京府下 東京

第七回蹄鐵工免許試驗舉行地及期日

明治二十七年四月二十六日

熊本縣下 熊本

同 年六月十九日

東京府下 東京

○農商務省告示第二十二號

本年三月法律第五號取引所法第二條ニ依リ取引所ノ地區今般指定ノ分左ノ如シ

明治二十六年十二月二十日

農商務大臣伯耆後藤象二郎

一 安八郡大垣町林東村 不破郡靜里村

一 西津島郡高崎町 熊本市

一 熊本市 飽田郡古町村、黒髮村、春日村、横手村、池田村、託麻郡本庄村、本山村、大江村

一 山形市 南村山郡東澤村

一 會見郡米子町 米子米綸取引所

一 和歌山市 和歌山米穀取引所

一 廣島市 名草郡中ノ島村、岡町村、海部郡淺村、雜賀村

一 廣島市 廣島米綸取引所

一 中頸城郡直江津町 直江津米穀取引所

○内務省告示第七十號

一 必要 晴雨鑑 全一冊

右出版物ハ略本曆類似ト認ムルヲ以テ其發賣頒布ヲ禁ス

明治二十六年十二月二十一日

○内務省告示第七十一號

一 散迷開運顯星錄 全一冊

明治二十七年

京都市上京區寺町通り八百三十二番地大井金太郎事 小村恒次郎發行

京都市上京區寺町通り八百三十二番地大井金太郎事 小村恒次郎發行

京都市上京區寺町通り八百三十二番地大井金太郎事 小村恒次郎發行

京都市上京區寺町通り八百三十二番地大井金太郎事 小村恒次郎發行

京都市上京區寺町通り八百三十二番地大井金太郎事 小村恒次郎發行

京都市上京區寺町通り八百三十二番地大井金太郎事 小村恒次郎發行

京都市上京區寺町通り八百三十二番地大井金太郎事 小村恒次郎發行

京都市上京區寺町通り八百三十二番地大井金太郎事 小村恒次郎發行

京都市上京區寺町通り八百三十二番地大井金太郎事 小村恒次郎發行

京都市上京區寺町通り八百三十二番地大井金太郎事 小村恒次郎發行

京都市上京區寺町通り八百三十二番地大井金太郎事 小村恒次郎發行

京都市上京區寺町通り八百三十二番地大井金太郎事 小村恒次郎發行

京都市上京區寺町通り八百三十二番地大井金太郎事 小村恒次郎發行

京都市上京區寺町通り八百三十二番地大井金太郎事 小村恒次郎發行

京都市上京區寺町通り八百三十二番地大井金太郎事 小村恒次郎發行

京都市上京區寺町通り八百三十二番地大井金太郎事 小村恒次郎發行

京都市上京區寺町通り八百三十二番地大井金太郎事 小村恒次郎發行

京都市上京區寺町通り八百三十二番地大井金太郎事 小村恒次郎發行

京都市上京區寺町通り八百三十二番地大井金太郎事 小村恒次郎發行

京都市上京區寺町通り八百三十二番地大井金太郎事 小村恒次郎發行

京都市上京區寺町通り八百三十二番地大井金太郎事 小村恒次郎發行

京都市上京區寺町通り八百三十二番地大井金太郎事 小村恒次郎發行

京都市上京區寺町通り八百三十二番地大井金太郎事 小村恒次郎發行

京都市上京區寺町通り八百三十二番地大井金太郎事 小村恒次郎發行

京都市上京區寺町通り八百三十二番地大井金太郎事 小村恒次郎發行

京都市上京區寺町通り八百三十二番地大井金太郎事 小村恒次郎發行

京都市上京區寺町通り八百三十二番地大井金太郎事 小村恒次郎發行

京都市上京區寺町通り八百三十二番地大井金太郎事 小村恒次郎發行

京都市上京區寺町通り八百三十二番地大井金太郎事 小村恒次郎發行

右出版物ハ略本曆類似ト認ムルヲ以テ其發賣頒布ヲ禁ス

明治二十六年十二月二十一日

內務大臣伯耆井上 馨

○遞信省告示第二百八十五號

明治二十七年一月一日ヨリ信濃國上伊那郡朝日村大字平出ハ三等郵便局ヲ置キ平出郵便局ト稱ス
明治二十六年十二月二十一日 遞信大臣伯耆井上清隆

○外務省告示第二號

在外帝國公使館領事館貿易事務館ヨリノ諸報告中通商航海ニ關スルモノヲ編纂シ通商彙纂ト題シテ當省ニ於テ毎月刊行シ明治二十七年一月一日以後郵稅先拂ヲ負擔スル者ニ配布スヘシ但郵費限アルニ附其配布ハ左ノ順序ニ依ル

- 一 北海道廳府縣廳
- 二 商業會議所
- 三 其他ノ希望者

右配布ヲ受ケント欲スル者ハ外務省通商局ニ共旨申出ツヘシ

外務大臣陸奥宗光

明治二十六年十二月二十二日

○內務省告示第七十二號
一だいたくたね、二四六ヲハン(大黒形兌換紙幣ニ)一葉 發行人未詳

右出版物ハ安寧秩序ヲ妨害スルモノト認ムルヲ以テ其發賣頒布ヲ禁ス

內務大臣伯耆井上 馨

明治二十六年十二月二十二日

○內務省告示第七十三號
一明治二十七年九星表 全一冊 大阪府南久太郡町三十五番屋敷增田傳兵衛發行

右出版物ハ略本曆類似ト認ムルヲ以テ其發賣頒布ヲ禁ス

內務大臣伯耆井上 馨

明治二十六年十二月二十二日

○內務省告示第七十四號

一明治二 農商必要便 全一冊

京都市下京四條小橋町八番地平民組石仲吉事 大月房次郎外四名發行

一明治二 七年重寶 全一冊

京都市上京二條通車庫町一番戸牧野徳光發行

右出版物ハ略本曆類似ト認ムルヲ以テ其發賣頒布ヲ禁ス

內務大臣伯耆井上 馨

明治二十六年十二月二十二日

○內務省告示第七十五號
一明治二 七年九星早見 全一冊

伊國縣數知郡澁松町大字旅籠六十二番地山本朋納發行

一明治二 六年十二月二十二日

○內務省告示第七十六號
一明治二 七年甲午九星早見 全一冊

東京市日本橋區淺町一丁目三番地平民齋藤清太發行

一明治二 七年甲午九星早見 全一冊

東京市橋區水谷町百九番地發售仁藤新藏發行

右出版物ハ略本曆類似ト認ムルヲ以テ其發賣頒布ヲ禁ス

內務大臣伯耆井上 馨

明治二十六年十二月二十二日

○內務省告示第七十七號
一日本録行兌換券壹圓(武内大臣ノ畫像ヲ描キタル模範紙幣) 一葉

發行入未詳

右出版物ハ安寧秩序ヲ妨害スルモノト認ムルヲ以テ其發賣頒布ヲ禁ス

內務大臣伯耆井上 馨

明治二十六年十二月二十二日

○遞信省告示第二百八十六號
本年十一月中西洋形船ヘ左ノ信號符字ヲ附ス

明治二十六年十二月 告示 內務省第七十四號 第七十五號 第七十六號 第七十七號 遞信省第二百八十六號 四五二

明治二十六年十二月二十二日
西洋形船

遞信大臣伯爵黒田清隆

信號符字	免狀番號	船名	種類	定點場	船主氏名
HJR W	一三五八	廣雲丸 Usunasu Maru.	汽	後志國小樽	佐藤啓右衛門
HJS B	一三五九	水勢丸 Suisei Maru.	汽	渡島國函館門	牛四郎
HJS C	一三六〇	北見丸 Kitami Maru.	汽	後志國小樽	天龍北見漕運會社

○遞信省告示第二百八十七號

萬國郵便條約實施細目規則第四條各國貨幣比例表中英領殖民地ノ部第三項英領北「ボルネオ」及第四項ラプアンニ關スル項目ヲ削除シ第六項ストレット、セツトルメントノ項目左ノ如ク改正ス
明治二十六年十二月二十二日
遞信大臣伯爵黒田清隆

第一欄	第二欄	第三欄	第四欄
ストレット、セツトルメント、ボルネオ、ラプアン	ドラル、ハセント	ドラル、三セント	ドラル、一セント

○宮内省告示第六號

來明治二十七年新年式左ノ通定メラル

明治二十六年十二月二十三日

宮内大臣子爵土方久元

新年式

一日

午前五時

同 七時

同 九時三十分

同 十時

同 十時十分

同 十一時

午後二時

同 二時十分

同 二時二十分

○ 青山御所

午前十時三十分

同 十一時

午後十一時三十分ヨリ
午後四時マデ

四方拜
晴御膳

親王同妃宮内省親任官公爵從一位勳一等及一等二等官同夫人並奏任官等拜賀

親任官公爵從一位勳一等及一等二等官爵香間祇候錦鶴間祇候同夫人等拜賀

准勅任雇外國人同夫人拜賀

三等官以下五等官以上ノ輩拜賀

奏任待遇ノ輩參賀

各國公使同夫人等拜賀

侯伯子男爵及從四位以上勳三等以上同夫人等拜賀

神佛各宗派管長拜賀

勳三等以上外國人同夫人拜賀

准奏任雇外國人並勳六等以上外國人拜賀

宮内省親任官公爵從一位勳一等及一等二等官同夫人並奏任官拜賀
親任官公爵從一位勳一等及一等二等官爵香間祇候錦鶴間祇候同夫人等拜賀

三等官以下五等官以上ノ輩參賀

午後十二時ヨリ
午後四時マテ
午後三時三十分ヨリ
同 四時マテ
奏任待遇ノ輩參賀
侯伯子男爵及從四位以上勳三等以上同夫人等參賀
神佛各宗派管長參賀

東宮御所

午前十二時五十分ヨリ
午前十二時マテ
午前十一時マテ
午前十二時マテ
午前十一時マテ
午後十二時マテ
午後四時マテ
午後三時マテ
午後四時マテ
宮内省高等官公爵從一位勳一等ノ輩拜賀
親任官公爵從一位勳一等及一等二官爵香間祇候錦織間祇候等拜賀
三等官以下五等官以上ノ輩參賀
奏任待遇ノ輩參賀
侯伯子男爵及從四位以上勳三等以上ノ輩參賀
神佛各宗派管長參賀

時刻各廳ニ於テ定ム

午前七時
同 九時三十分
晴御膳
六等官以下九等官以上ノ輩拜賀
奏任待遇ノ神職參賀
非役正五位以下從六位以上同勳四等以下勳六等以上ノ輩拜賀
門跡寺院住職等拜賀
貴族院衆議院正副議長議員拜賀
同 十一時三十分
非役正七位以下同勳七等以下ノ輩參賀

青山御所

午前十二時三十分
午後四時迄
午後四時三十分ヨリ
午後一時三十分ヨリ
午後四時迄
午後二時
六等官以下九等官以上ノ輩參賀
奏任待遇ノ神職參賀
非役正五位以下從六位以上同勳四等以下勳六等以上ノ輩參賀
門跡寺院住職等參賀
非役正七位以下同勳七等以下ノ輩參賀
親王同妃拜賀

東宮御所

午前十二時五十分ヨリ
午後四時迄
午後四時三十分ヨリ
午後一時五十分ヨリ
午後四時迄
午後二時二十分
六等官以下九等官以上ノ輩參賀
奏任待遇ノ神職參賀
非役正五位以下從六位以上同勳四等以下勳六等以上ノ輩參賀
門跡寺院住職等參賀
非役正七位以下同勳七等以下ノ輩參賀
親王拜賀

午前七時
同 十時
晴御膳
元始祭
賢所 皇靈 神殿 御親祭

四日

午前九時

政始

五日

午前十一時

新年宴會

親王親任官公爵勳一等及一等官侯爵二等官爵香間祇候錦鍋間祇候
及各國公使等參内
在京奏任官ハ各廳ニ於テ賜饌
在京有爵者及有位華族ハ芝離宮ニ於テ賜饌
在京貴族院衆議院正副議長議員ハ各議院ニ於テ賜饌

八日

午前十時

陸軍始

○遞信省告示第二百八十八號

本年十月當省告示第二百三十七號ヲ以テ大分縣豐後國大分郡西大分町立大分燈竿點火中止ノ旨告示
セシ處本月二十八日ヨリ從前ノ通點火ス

明治二十六年十二月二十三日

遞信大臣伯爵黑田清隆

○遞信省告示第二百八十九號

來二十七年一月一日ヨリ備後國鞆郵便電信局ニ於テ歐文電報及歐字又ハ亞刺比亞歐字ヲ記入シテ
ル和文電報モ之ヲ取扱フ

明治二十六年十二月二十三日

遞信大臣伯爵黑田清隆

○遞信省告示第二百九十號

來二十七年一月十六日ヨリ左ノ各局ヘ郵便貯金事務ヲ開設ス

遞信大臣伯爵黑田清隆

明治二十六年十二月二十三日

- 甲斐國中巨摩郡百田郵便局 紀伊國那賀郡池田郵便局 紀伊國有田郡押手郵便局
- 紀伊國伊都郡富貴郵便局 伊豆國賀茂郡八幡郵便局 伊豆國君澤郡立保郵便局
- 伊豆國賀茂郡網代郵便局 越後國榛原郡御前崎郵便局 越後國智郡山梨郵便局
- 越後國西頸城郡青海郵便局 越後國刈羽郡上田尻郵便局 伊勢國一志郡小野江郵便局
- 伊勢國多氣郡丹生郵便局 伊勢國三重郡水澤郵便局 隱岐國海士郡崎村郵便局
- 隱岐國周吉郡布施郵便局 隱岐國知夫郡別府郵便局 肥後國天草郡湯船原郵便局
- 下總國北相馬郡相馬郵便局 伊豫國北宇和郡近永郵便局

○遞信省告示第二百九十一號

來二十七年一月十六日ヨリ肥前國南松浦郡福江郵便局ヘ電信爲替事務ヲ開設ス

遞信大臣伯爵黑田清隆

明治二十六年十二月二十三日

遞信大臣伯爵黑田清隆

○內務省告示第七十八號

一娼妓讀本 全二冊 愛知縣名古屋市南區名町六十九番戶平野長興方同居山田玄山發行
右出版物ハ風俗ヲ壞亂スルモノト認ムルヲ以テ其發賣頒布ヲ禁ス

明治二十六年十二月二十五日

內務大臣伯爵井上 馨

○內務省告示第七十九號

一自由の愉快武志 わつまつ 廣島縣廣島市大手町二丁目二十八番地留聲機大那發行
右出版物ハ安寧秩序ヲ妨害スルモノト認ムルヲ以テ其發賣頒布ヲ禁ス

明治二十六年十二月二十五日

內務大臣伯爵井上 馨

○逓信省告示第二百九十二號
來二十七年一月一日ヨリ羽前國北村山郡大石田郵便局ヲ三等郵便電信局トシ大石田郵便電信局ト稱ス
明治二十六年十二月二十五日
逓信大臣伯備黑田清隆

○內務省告示第八十號
全一册
京都市四條通東へ入ル八番戶山本治兵衛發行

一明治二十九年重寶
全一册
高知縣永國寺町千百一番地福富喜多治發行

右出版物ハ略本曆類似ト認ムルヲ以テ其發賣頒布ヲ禁ス
明治二十六年十二月二十六日
內務大臣伯備井上 馨

○內務省告示第八十一號

一眞砂叢誌第一號
横濱市野毛町三丁目百十三番地内水寛吉發行

右出版物ハ其記載事項出版法第二條ノ範圍外ニ涉ルヲ以テ自今同法ニ依リ出版スルコトヲ差止
明治二十六年十二月二十六日
內務大臣伯備井上 馨

○農商務省告示第二十三號

來明治二十七年千八百九十四年(四月十六日)ヨリ向フ六箇月間佛國里昂府ニ開設スル博覽會出品手續ニ關シ其筋ヨリ左ノ報知アリタリ
但政府ニ於テハ該會ニ參同セス
農商務大臣伯備藤象二郎

明治二十六年十二月二十七日
千八百九十四年佛國里昂府ニ開設ノ大博覽會へ日本ヨリ出品スヘキモノハ生絲絹織物「クレボン」

等ノ外日本紙ヲ可トス日本紙ハ歐洲ノ需用品トナルノ望ミアルモ歐洲ニ於テ該紙ヲ知ルモノ未ダ少數ナルヲ以テナリ

出品人ヨリ出品申込期限ハ千八百九十三年十二月三十一日限ノ規程ナレトモ日本ノ如キハ距離遠隔ナルカ爲メ特ニ該出品申込期限ヲ千八百九十四年一月三十一日マテ延期スヘシ

右博覽會へ出品希望ノ日本商人或ハ工業家ハ千八百九十四年一月二十八日マテニ住所姓名及ヒ出品ニ要スル坪數(或ハ「メートル」平方)ヲ在橫濱居留地ニ番館該會事務官長代理クアツフ氏へ通報セハ同氏ヨリ右坪數ヲ準備シ置クヘキ旨電報ヲ以テ里昂府へ通知スヘシ

出品陳列場數十坪ヲ借入ル、トキハ其借料ハ「メートル」平方三十法トス單ニ「メートル」平方ヲ借入ル、トキハ五十法トス

本會ハ四月二十六日ヨリ十月末マテ開設ノ規定ナレトモ實際全ク會場ノ整頓スルハ六月十五日ノ見込ナレハ若シ陳列臺又ハ陳列場裝付ノ爲メニ職工ヲ派遣スル者ハ明二十七年二月ニ出發セシムルヲ要ス而シテ其出品物ハ十五日後ニ發送シテ然ルヘシ

本會ノ出品物ハ開會中賣買シ得ヘキニ付既ニ賣買セン出品物ニハ賣買約定濟ノ小札ヲ貼付スルヲ要ス

○逓信省告示第二百九十三號

來二十七年一月一日ヨリ播磨國宍粟郡山崎郵便局ヲ三等郵便電信局トシ山崎郵便電信局ト稱ス
明治二十六年十二月二十七日
逓信大臣伯備黑田清隆

○內務省告示第八十二號

一明治二十七年農家必要
全一册
京都市四條大橋通り東六軒町二十四番戶土族武山茂喜事藤田幾三郎外二名發行

一明治二十七年九星便
全一册
東京市日本橋區堀江町三丁目三十八番地土族小高清榮發行

一明治二十七年農家便覽
全一册
靜岡縣數郡濱松町大字旅籠六十二番地山本朋納發行

右出版物ハ略本曆類似ト認ムルヲ以テ其發賣頒布ヲ禁ス

明治二十六年十二月二十八日

内務大臣伯耆井上 啓

○内務省告示第八十三號

一明治二十七年九星方解 全一册 京都市上京區大伏町五番戶福田寛富發行

右出版物ハ略本曆類似ト認ムルヲ以テ其發賣頒布ヲ禁ス

明治二十六年十二月二十八日

内務大臣伯耆井上 啓

○内務省告示第八十四號

一明治二十七年九星表 一册 神奈川縣橫濱市相生町一丁目二十五番地寄山田晴編印

右出版物ハ略本曆類似ト認ムルヲ以テ其發賣頒布ヲ禁ス

明治二十六年十二月二十八日

内務大臣伯耆井上 啓

○内務省告示第八十五號

一明治二十七年九星改頁 全一枚 青森縣三月町八月飛町六番戶飯島勝藏發行

右出版物ハ略本曆類似ト認ムルヲ以テ其發賣頒布ヲ禁ス

明治二十六年十二月二十八日

内務大臣伯耆井上 啓

○司法省告示第九十四號

鳥取地方裁判所管内米子區裁判所淀江出張所明治二十七年一月四日ヨリ開辦ス

明治二十六年十二月二十八日

司法大臣芳川顯正

○司法省告示第九十五號

盛岡地方裁判所管内遠野區裁判所ニ於テ明治二十七年一月四日ヨリ民事裁判事務ヲ取扱フ

明治二十六年十二月二十八日

司法大臣芳川顯正

○遞信省告示第二百九十四號

來二十七年一月十六日ヨリ左ノ郵便受取所ヲ設置ス

明治二十六年十二月二十八日

遞信大臣伯耆井上清隆

○遞信省告示第二百九十五號

肥前國佐賀市道祖元町郵便受取所 常陸國水戸市馬口勞町郵便受取所

來二十七年一月十六日ヨリ左ノ郵便受取所ニ郵便貯金事務ヲ開辦ス

遞信大臣伯耆井上清隆

東京市麹町區東京三番町郵便受取所

信濃國東筑摩郡淺間郵便受取所 阿波國德島市助任町郵便受取所

肥前國佐賀市道祖元町郵便受取所

備前國岡山市片瀬町郵便受取所 常陸國水戸市馬口勞町郵便受取所

○遞信省告示第二百九十六號

一日本形船西悅丸 五百二十三石積

右ハ新潟縣雜太郡澤根村大字澤根村山西彌與吉所有ニシテ本年十月八日同人外九名乘組澤根

港出帆山口縣下赤間關ヘ向ケ航海ノ處其後竟ニ踪跡ヲ失ヒタル旨新潟縣ヨリ届出タルヲ以テ其所

在發見候モノハ速ニ管轄廳ニ申出ツヘシ

明治二十六年十二月二十八日

遞信大臣伯耆井上清隆

○遞信省告示第二百九十七號

今般海軍省ニ於テ水路誌改正相成候ニ付テハ現時及ヒ將來共左記ノ事項ニ關シ經驗若クハ意見ヲ

有スル船長、船員ハ勿論其他何人ト雖モ速ニ書面又ハ口頭ヲ以テ同省水路部當省管船局又ハ最寄

船舶司檢所ハ届出ツヘシ

明治二十六年十二月 告示 遞信省第二百九十四號 第二百九十五號 第二百九十六號 第二百九十七號 四六一

明治二十六年十二月二十八日 報告要目

- 一 航路ニ關スル事項
 - 甲地ヨリ乙地ニ至ル春季ニ於テハ如何ニ針路ヲ定ムルヲ普通トシ夏季秋季又ハ冬季ニ於テハ之ヲ如何ニ變更スヘキカ風潮ノ模様ニヨリ某地ヨリ某岬迄ノ間ハ如何之ヲ斟酌スヘキカ
- 一 港灣ニ關スル事項
 - 右兩地ノ間ニ於テ颶風ヲ避クルハ何レノ港灣ヲ適當トスヘキカ其港灣ヲ認ムルニ最モ好キ目標ハ何ナルヤ入港ノ針路ハ如何ニシテ可ナルヤ入港ニ際シ危險ナキカ若シアラハ之ヲ避クルニ標準線ノ測定ハ如何ニシテ如何ニ置其深淺及ヒ底質鋪揚キノ良否ハ如何風波ヨリ生スル港灣ノ影響ハ如何其港灣特有ノ形勢ハ如何
- 一 海岸ニ關スル事項
 - 此海岸ヲ航通スルニ平常ニ注意シ又天候ノ變化ニヨリ特ニ警戒スヘキ條件著明ノ目標ハ如何荒天ニ際シ避泊スヘキ場所竝ニ其備地ハ如何海ノ深淺及ヒ季節ニヨリ霧風潮流海流ノ影響ハ如何
- 一 羅針偏差ニ關スル事項
 - 航行中天測ニヨリ何レノ地位ニ於テ羅針偏差ヲ確定セシヤ其偏差ハ如何特ニ羅針ニ變動ヲ起スコトナキヤ若シアリトセハ其場所竝ニ變動ハ如何
- 一 海圖及ヒ水路誌ニ關スル事項
 - 刊行ノ海圖又ハ水路誌等ニ記載セル事項ニ實際ニ相違シ若クハ未タ海圖又ハ水路誌等ニ記載セサル嶺嶼淺洲等アルヲ知ラハ成ルヘク詳細ニ且成ルヘク迅速ニ報告アラントヲ要ス

○内務省告示第八十六號

一 明治二十七年九星便覽 全一冊 京都府上京區御幸町小路六番戶藤井彦兵衛發行

右出版物ハ略本曆類似ト認ムルヲ以テ其發賣頒布ヲ禁ス

明治二十六年十二月二十九日

内務大臣 伯爵 井上 馨

○内務省告示第八十七號

一 明治二十七年陰陽早見表 全一冊 富山縣高岡市小島山町四番地國本勝次郎發行

右出版物ハ略本曆類似ト認ムルヲ以テ其發賣頒布ヲ禁ス

明治二十六年十二月二十九日

内務大臣 伯爵 井上 馨

○内務省告示第八十八號

一 日々七值表 全一冊 大阪市南區末吉橋通三丁目百五番屋敷山根定吉發行

右出版物ハ略本曆類似ト認ムルヲ以テ其發賣頒布ヲ禁ス

明治二十六年十二月二十九日

内務大臣 伯爵 井上 馨

○内務省告示第八十九號

一 明治二十七年農家辨覽 全一冊 上京區第二十一組錦田町二十二番戶吉田榮三發行

右出版物ハ略本曆類似ト認ムルヲ以テ其發賣頒布ヲ禁ス

明治二十六年十二月二十九日

内務大臣 伯爵 井上 馨

○内務省告示第九十號

一 今日ノ政治世界 石狩國札幌區北一條西五丁目一番地神宮司盛男發行

右出版物ハ安寧秩序ヲ妨害スルモノト認ムルヲ以テ其發賣頒布ヲ禁ス

明治二十六年十二月二十九日

内務大臣 伯爵 井上 馨

○内務省告示第九十一號

評論第十號ハ其記載ノ事項出版法第二條ノ範圍外ニ涉ルヲ以テ自今同法ニ依リテ出版スルコトヲ差止メタリ

明治二十六年十二月二十九日

内務大臣 伯耆井上 馨

○陸軍省告示第十一號

明治二十七年度ニ於テ移住セシムヘキ屯田兵ノ補缺トシテ屯田兵召募規則附表ニ掲グル聯合府縣ノ外特ニ岡山愛媛鳥取島根大分ノ五縣ヨリ召募ス各縣廳ニ在テハ同年二月三十一日迄ニ願書類ヲ取經メ召募官到著ノ節同官ニ交付シ且ツ同日迄ニ志願者ノ有無員數ヲ屯田兵司令部ニ通報スヘシ但一縣ノ志願者十名ニ滿タルトキハ最寄府縣ノ検査場ニ於テ検査スルコトアルヘシ

明治二十六年十二月二十九日

陸軍大臣 伯耆 大山 巖

法令全書

同指令

○酒樽油樽等度量器算出方ノ件(神奈川縣改稅長)照會 明治二十五年十月十八日

一 酒樽用及油樽製造用器度量法ニ尺度ハ孰レモ出尺ヲ用ヒ分位ニ止メ厘以下切捨ツヘシトアリ右切捨方口圍徑等ノ計量即チ縱橫徑ヲ計ル際厘以下ヲ存シ厘キ之ヲ和シニ除シタル上厘以下ヲ切捨ツヘキヤ又右縱橫計量ノ際厘以下ヲ切捨テ之ヲ和シニ除シタル上更ニ厘以下ヲ切捨ツヘキヤ
一 酒樽用器諸石數算出方第二圖徑以上及同以下ノ石數ヲ各別ニ算出シ得タル數ニ於テハ均以下ノ石數ヲ存シ厘キ合算ノ上合位ニ止ムルヤ又ハ右得タル數ノ内ヨリ先ツ均以下ヲ切捨テ合算スルヤ
右丈算出方ハ二項共前段ノ方法ニ依リ至當ト被存候得共法文ノ解釋ヲ異ニスルカ爲メ賦府縣ニ依リ其取扱ヲ異ニスルヤニ傳聞爲心得近傍二三府縣へ及問合候處果シテ區々相成居疑義ヲ生シ候ニ付至念何分ノ御回答相成度
(大藏省主稅局)回答 明治二十六年一月六日
第一項第二項トモ後段御見込ノ通ニテ可然考置ス

○度量衡器檢定ニ關スル件(廣心)照會 明治二十五年十二月二十七日

度量衡法規ニ關シ左記ノ條々疑義ヲ生候ニ付至念何分ノ御指令相成度
一 明治二十四年勅令第百七十七號第三條公差表第一「メートル」ヲ超ヘニ「メートル」未滿ノ度量器ニ對スル公差抵處無之右ハ「メートル」同標ノ公差ヲ計スヘキモノト心得可然哉
一 同第九條檢定料表中竹木骨象牙製ノ度量器十五尺以下及五「メートル」以下ノモノニ對スル檢定料抵處無之右ハ金屬製十八尺以下及五「メートル」以下ノ檢定料同額ヲ納ムヘキモノト心得可然哉
一 度量衡器ノ全長全量又ハ秤量ノ表記スルニ其數字及名稱ヲ歐文又ハ其略字ヲ以テスルモ不苦哉
一 製作原器ヲ檢定スルトキハ他ノ度量衡器同標檢定料ヲ徴收スヘキ候ナル哉
(農商務省)指令 明治二十六年一月二十日
第一項何ノ通

明治二十六年一月 指令 大藏省 農商務省

明治二十六年二月 指令 農商務省

第二項同物實七尺以下及二メートル以下ノ檢定料ト同額ヲ納メシムヘシ
第三項「メートル」法度量衡器ニ限リ何ノ趣
第四項檢定料ヲ徴收セス

○煙草營業者印紙増貼ノ件(大藏府) 明治二十六年二月十四日(電報)
本月省令第二號ニ據レハ製造煙草ヲ定價以上ニ賣捌カントスルトキハ原製造人ニ托シ云々トアリ右原製造人ノ選隔ニアリテハ最
密製造人ニ托スルモ差支ナキヤ
(大藏省)指令 明治二十六年二月十六日(電報)
原製造人ニ限ル

○徴兵令第二十條ノ事故再發者取扱方ノ件(熊本縣) 明治二十五年十二月二十日
徴兵令第二十條徵集延期ノ年額通算ノ儀ニ付去ル明治二十三年十二月二十日(電報) 貴縣ヨリ徳島縣へ御回答ノ趣本月初五日
師團長ノ申請ニ對スル陸軍大臣ノ御指令ハ前後ノ年額ヲ通算セサル事ニ相成居右ハ一端現役ニ當籤セシ後新ニ事故ノ生シタルモノ
ト否ラサルモノトニ依リ差違アル義ト了解致可然哉何分ノ御回答有之度候也
(陸軍省)第十軍事務課 明治二十六年二月二十二日
事故ノ繼續ト否トニ由リ區別アル旨進ニ有之候尤徳島縣照會ノ儀モ乙家離退ノ時一旦事故止ミタル者ニ付丙家ニ於テ延期トナリタ
ル初年ヨリ更ニ延期年限ヲ起算シ可然旨其後同縣へ及通知候條右様御承知有之度

明治二十六年二月 指令 大藏省 陸軍省

右縣知事ト縣會トノ間ニ於テ地方稅收入不足補充ヲ常置委員會ニ附隨シタル件ニ付法律ノ見解ヲ與ニシ權限ヲ爭ヒ府縣會規則第九條ニ依リ裁定ヲ仰クノ要領左ノ如シ

縣會ノ具狀

明治二十五年七月ニ於テ島取縣知事ハ府縣會規則第三十七條第二項ニ依リ常置委員會ヲ開キ左ノ議案ヲ提シ而シテ同會ハ所謂臨時會トシテ右第二項ヲ適用ス可キ場合ニ非ラズトシ理由ヲ附シテ之ヲ返還シタルニ知事ハ更ニ規則第三十三條第二項ニ據リ之ヲ實行シタルハ法文ノ解釋ヲ誤リ縣會ノ權限ヲ侵奪シタル者ナリ

明治二十四年度地方稅收入不足補充豫算議案
一金六百七拾參圓八拾貳錢七厘

此道徵方

缺額道徵高

金八百參拾四圓六拾七錢九厘

地租割

但シ明治二十五年地租豫算最高額
內金百六拾圓八拾五錢貳厘 但シ算出上徵收過金

調金四拾參萬七千五百參拾九圓四拾陸錢七厘地租割額ニ付金貳圓

一本稅賦課方法ハ明治二十四年一月島取縣令第九號ニ據ル

要領

知事ハ明治二十四年度地方稅收入ノ不足ヲ徵收補填セントシ規則第三十七條第二項ニ當置委員會ハ地方稅ヲ以テ支辨スヘキ事業ニシテ臨時會應ラ要スル場合ニ於テハ其經費ヲ豫算及徵收方法ヲ議決シ而テ府縣會ニ報告スルヲ得トアルヲ誤解シ右支辨スヘキ事業ト云ヘルハ支辨スヘキ事件ト云ヘル意義ニシテ知事カ臨時會應ラ見做ス事件ハ如何ナル場合ト雖モ同條第二項ヲ適用シ得ヘクシテ其認定ハ一ニ知事ノ職權ニ在リ議會ノ敢テ是非スヘキモノニアラス又本縣ノ定ムル會計規則ノ制裁ニ依テ明治二十五年八月迄ニ決算完結ヲ要シ臨時會ヲ召集スルノ限ナキヲ以テ該會ヲ開キ云々ト所謂知事カ事業ト云ヘルハ事件ト云ヘル意義ナリトハ案ニ既ニ其意義ノ是ナルヲ曉スル者ニシテ抑モ事件トハ建議若クハ諮問等事等ノ如キモ格持シタル者ニシテ單ニ事業ト斥ス者ハ或ル範圍若クハ修繕等抽象的經營タルヤ明ナリ殊ニ地方稅ヲ以テ支辨スヘキ事業トアル以上ハ必スマ價銀ヲ支拂フヘキ現在及

將來ノ營造若クハ修繕事業ニ限ル者タラサル可カラズ然ルニ本案ノ如キハ收入不足ヲ徵收スル者タリ而シテ之ニ對スル事業ヲ開フニ違ク既往ニ屬シ其何タルヲ知ル可カラズ固ヨリ之ヲ事件トシテ見ルモ所謂價銀ヲ任拂フヘキ現在及將來ニ於ケル抽象的事業ト爲スヲ得シヤ又規則第四條ノ臨時會ノアルニモ拘ハラズ該條更ニ急遽ノ場合ヲ明記シタル者ハ必スマ第四條ヲ用ユルノ限ナキ場合ニ限ル特例タルヲ忘ルヘカラス否ラサレハ臨時會ノ行フヘキ事ト當置委員會ノ行フヘキ事ト分別ナカラントス是レ深ク慎重ヲ加ヘサル可カラサルノ場合トス又知事ハ決算完結ノ期切迫セリ云々ト謂フト雖モ地方稅ノ決算ハ必スシモ島取縣會計規則ニ依ル可キ者ニ非ス自カラ地方稅規則ノアルアリ通常縣會ノ期ニ至ル猶四箇月ノ間アリ而モ又郡縣會建築修繕費郡吏給料旅費及國中諸費ノ二費目ニ係ル收支差引上當時尙六百五拾貳圓七拾九錢參厘ノ殘餘アルヲ以テ從來ノ慣行ニヨリ一時修繕支辨ノ途アリ何ノ急カ之レアラシヤ

縣知事ノ答辭

明治二十五年七月府縣會規則第三十七條第二項ニ據リ明治二十四年度地方稅收入不足補充豫算議案ヲ常置委員會ニ付議セシニ委員會ニ於テハ同條第二項ヲ適用スヘキモノニアラストシテ之カ議決ヲ爲サ、ルヲ以テ更ニ規則第三十三條第二項ニ違ヒ內務大臣ノ認可ヲ得之ヲ施行シタリ然ルニ本縣會ハ法律ノ解釋ヲ誤リ縣會ノ權限ヲ侵奪シタルモノトナシ貴局ノ裁定ヲ乞フコトヲ議決シ別紙具狀書ヲ呈出セリ其要領ハ第一地方稅收入不足補充豫算議案ハ府縣會規則第三十七條第二項ノ所謂地方稅ヲ以テ支辨スヘキ事業ニ非ラサルニヨリ其豫算議案ヲ常置委員會ニ付議シタルハ法文ノ解釋ヲ誤リタルモノナリ第二右補充道徵ハ臨時會會ニ付スルコトヲ得ヘキニ急遽ヲ要スルモノトシ常置委員會ニ付議シタルハ縣會ノ權限ヲ侵奪シタルモノナリトノ二點ニ外ナラスト認ムルヲ以テ之ニ對スル意見左ニ陳辯致候

第一 縣會ハ府縣會規則第三十七條第二項ニ當置委員會ハ地方稅ヲ以テ支辨スヘキ事業ニシテ云々トアル其事業ト指スモノハ必ス價銀ヲ支拂フヘキ現在及將來ノ營造若クハ修繕事業ニ限リ收入不足補充ノ如キハ之ニ包含セサルヲ以テ當置委員會ニ於テ議決スヘキモノニアラスト云フト雖モ府縣會規則第三十七條第二項ハ決シテ縣會解釋ノ如キ狹隘ナル法意ニアラス苟クモ地方稅ノ收支ニ就キ臨時會應ラ要スル場合ハ特ニ其豫算又ハ徵收方法ヲ議決シ得ヘキ當置委員會ノ權限ヲ規定セラレタルモノニシテ地方稅收入

不足補充ノ如キモ其意趣ヲ要スル場合ハ亦當然之ヲ議決シ得ヘキモノナリトス故ニ本官カ事實意趣ヲ要スル明治二十四年度地方
 稅收入不足補充豫算案ヲ常置委員會ニ付シテ常置委員會ニ於テ之ヲ議定セサル爲メ内務大臣ノ認可ヲ得之ヲ施行シタルハ適法
 ノ處分ニシテ決シテ法律ノ解釋ヲ誤リタルモノニアラズト確信ス

第二 縣會ハ明治二十四年度地方稅不足補充豫算案ヲ常置委員會ニ付シタルハ同年度ノ決算ヲ報告スヘキ通常縣會ノ會期ニ四箇
 月ノ間アリ且該不足金ハ一時繰替支辨ノ途アルニモ拘ハラズ之ヲ臨時縣會ノ議決ニ付セス意趣ヲ要スルモノトシテ常置委員會ニ付
 議シタルハ縣會ノ職權ヲ侵奪シタルモノナリト云フモ該道徵ハ最モ急務ヲ要シ府縣會規則第三十七條第二項ニ據リ之ヲ常置委員
 會ニ付議シタルモノニシテ其意趣スヘキト否ハ行政事務上ノ問題ニ屬シ法律上ノ爭論ニアラサレハ貴局ノ議定ヲ乞フヘキ限リニ
 アラス隨テ其意趣ヲ要スル事實ヲ認ケ聲明スルノ必要ナキモノト思量スルヲ以テ茲ニ之ヲ聲明セシ

審明

本件縣知事ト縣會ト法律ノ見解ヲ異ニシ權限ヲ爭フノ要點ハ明治二十五年七月中知事カ明治二十四年度地方稅收入不足補充豫算案
 案ヲ常置委員會ノ議ニ附シタルニ同會其議定ヲ拒ミタルカ爲メ内務大臣ノ認可ヲ得之ヲ施行シタルハ其當ヲ得ルヤ否ニ在リ之ヲ審
 按スルニ知事ハ府縣會規則第三十七條第二項ヲ以テ凡ノ地方稅ノ收支ニ付臨時縣會ヲ要スル場合ハ其豫算又ハ徵收方法ヲ議決スル
 ヲ得ル常置委員ノ權限ヲ規定シタルモノト爲シ則チ地方稅收入不足補充ノ如キモ急務ヲ要スル場合ハ當然常置委員會ニ於テ之ヲ議
 決スルヲ得ヘキモノナレハ其議案ヲ議定セサル爲メ内務大臣ノ認可ヲ得之ヲ施行シタルハ適法ノ處分ナリト云フト雖右第三十七條
 第二項ハ地方稅ヲ以テ支辨スヘキ或ル事業アル場合ニ適用スヘキモノニシテ本件地方稅收入不足補充ノ議案ハ唯況ク不足ノ補充ヲ
 要スルシタルモノニシテ其補充金ヲ要スル一定ノ目的ヲ示サズ隨テ地方稅ヲ以テ支辨スヘキ事業アリト謂フコトヲ得ス故ニ知事ハ常
 置委員會ニ於テ其議案ヲ議定セザリシ爲メ議定スヘキ議案ヲ議定セサルモノト認メ原案ヲ施行スヘキノ限ニアラス

判決

右ノ理由ニ由リ島取縣知事カ明治二十四年度地方稅收入不足補充豫算案ヲ常置委員會ノ議ニ附シ同會其議案ヲ議定セサルヲ以テ
 議定スヘキ議案ヲ議定セザルモノト爲シ原案ヲ施行シタルハ其當ヲ得サルモノトス

明治二十六年三月三日

管理委員長 法制局長官 末松 徹
 管理委員 法制局部長 平田 貞助

管理委員 法制局參事官 木下 周一
 管理委員 法制局參事官 中根 重一
 管理委員 法制局參事官 小宮 三保松
 管理委員 法制局參事官 石原 英藏
 管理委員 法制局參事官 龜井 英三郎

○陸軍豫備後備下士軍身上昇勳等取扱ノ件(佐賀縣) 明治二十五年四月二十一日
 郡役所ハ陸軍召集條例第百四十八條同第百四十九條ニ示シタル如ク陸軍豫備後備將校下士兵員名簿ヲ備ヘ異動アルトキハ速ニ簿ニ
 フ加フヘキ處明治二十二年陸軍豫備後備服從條例並ニ歸休兵條例被相定身ノ異動等ハ總テ町村長ヲ經テ豫備區長ヘ届出ツヘキ等ニ
 テ郡役所ハ其異動ヲ知ルニ山ナク依テ右異動届ノ際ハ町村長ヨリ郡長ヘ報告ノ手續ニ致シ來候得共動モスレハ報告疎漏ヲ生シ實際
 差開モ有之候間今陸軍召集旅費支出規程被相定就テハ郡役所名簿ノ檢一層精確ヲ要シ候間前文條例中身ノ異動届等町村長ヲ經
 テ分ハ總テ郡役所ヲ經由候様致度於然ハ町村役場ハ勿論郡役所監視區共取扱上便宜ニシテ郡役所名簿精實ト可相成候様御許可相成
 度
 (陸軍省)指令 明治二十五年四月二十九日
 何ノ通

○國稅滯納處分ニ依リ生シシ剩餘金保管方ノ件(大藏省主税課長) 明治二十六年四月十九日
 國稅滯納者遺棄行衛不分明ニシテ親族等無之者滯納處分ニ依リ生シシ剩餘金保管方ノ權ニ付客年十一月二十二日附ヲ以テ及御通牒
 置候處右ハ取消候條更ニ左ノ通御承知有之度
 滯納者ニシテ親族等不分明ニテ他ニ親族等其遺留財產ヲ管理スヘキ者ナキ場合ニ於テハ其滯納處分ニ依リ生シシ剩餘金ハ收入
 官更ニ於テ之ヲ領置シ明治二十三年勅令第百二號及同年大藏省令第百八號ニ依リ預金局ヘ寄托ノ手續ヲナスヘキモノトス
 右及御通牒候也
 (參照)
 財政公賣代費金管理方ノ件(大藏省主税課長) 明治二十五年十一月二十二日
 去ル二十四年八月二十四日附御間合滯納者遺棄行衛不分明等ノ場合處分剩餘金交付方ニ對シ同年九月十一日附ヲ以テ云々主税局
 長ヨリ及御答置候處右ハ取消シノ上左ノ通御承知相成度
 右滯納者遺棄行衛不分明等ニシテ親族無之場合ニハ明治十一年五月内務省同太政官議令第一項ニ依リ市町村長ニ交付シ市町村
 長ハ明治二十三年勅令第百二號及同年大藏省令第百八號ニ依リ取扱フモノニ有之候又右剩餘金ヲ交付スルニ當リ市町村長ヨリ豫
 ル預リ證書ニハ印紙ヲ貼用セシムルモノナリ尤モ其印紙代ハ市町村役場ニ於テ支辨シ他日本入ヨリ同役場ヘ辨償スル筋ト御承
 知有之度
 右内務省協濟ノ上更ニ申進候也

明治二十六年四月 指令 陸軍省 大藏省

○徴兵通諭者海軍志願兵志願ノ件(海軍省)照會 明治二十六年四月十四日

本年海軍省令第一號ヲ以テ海軍志願兵徵募細則中改正相成候處該志願者差出期ハ徴兵通諭局出城ハ検査済ノ後子ニ務ルト雖モ地籍前ニアリテハ海軍志願兵志願スルコトヲ得ル候ト相心得可然該差出期ハ徴兵通諭局出城ニ付至急何分御回報相成度

(海軍省第一局)回答 明治二十六年四月十九日

徴兵現役當務者ト雖モ其以前ニ願書ヲ差出シタルモノハ志願兵ニ採用可相成候ニ有之候條右檢御了知相成度

法制局裁定

裁定書

福島縣知事 日下 龜雄

福島縣會議員 目黒 重寛

右縣知事ト縣會トノ間ニ於テ明治二十五年年度地方稅追加豫算中監獄費追加ノ件ニ付法律ノ見解ヲ異ニシシテ權限ヲ爭フコトアルヲ以テ府縣會規則第九條ノ明文ニ據リニ依リ裁定ヲ仰クノ要領左ノ如シ

縣會ノ具狀

福島縣會ハ監獄費追加豫算ノ件ニ付縣知事ト法律ノ見解ヲ異ニシ及ヒ權限ヲ爭フコトアルヲ以テ府縣會規則第九條ノ明文ニ據リ茲ニ裁定ヲ仰クノ要領ヲ具狀ス

本縣會ハ明治二十六年三月二十一日臨時會ニ於テ明治二十五年年度地方稅追加豫算議案ヲ受ケ之レヲ審議スルニ監獄費追加豫算金一万五千四百八十九圓三十三錢九厘ニテ內明治二十四年度支出ニ屬スヘキ經費金一万三千七百四十四圓三十五錢五厘ニ對シ二十五年年度經費ヨリ既ニ支拂ヒタル金九千七百四十四圓四十四錢五厘ト未タ支拂ハサル金四千二百九十九圓九十一錢又全ク明治二十五年年度ノ支出ニ屬スヘキ追加豫算金千七百四十四圓九十八錢四厘ト即チ一ハ明治二十四年度經費精算確定ノ後ニ至リ發見シタル費途ニ對シテ既ニ翌年度ノ經費豫算ヲ以テ支拂ヒタルモノ一ハ其未タ支出セサル分ヲ支拂ハントスルモノ及ヒ明治二十五年年度經費ノ追加豫算ヲ合算シ之レカ隨決ヲ求ムニアリ而シテ更ニ之レヲ審議スルニ明治二十四年度ニ於テハ明治二十三年度ノ經費三屬スル金八十三圓三十五錢二厘ヲ支拂ヒタリ依テ之レヲ府縣會規則及地方稅規則ニ照ラスニ府縣會規則第一條ニ「府縣會ハ地方稅ヲ以テ支拂スヘキ經費ノ豫算及其徵收方法ヲ議定ス」トアリ而シテ豫算ハ豫算ノ要領ヲ規定シ之レカ收支ヲ算定スルモノニシテ明

カニ府縣會ハ其收支豫算ヲ議定スルモノナルコトヲ規定セリ故ニ本案ニ包含スルモノ、如キ既ニ經過シタル前年度ノ經費ニシテ而カモ其精算確定ノ今日ニ於テ發見シタル費用ニ對シ豫算トシテ議決ヲ求ムヘキモノニアラス又地方稅規則ヲ案スルニ其第五條第二項ニ「前年度經費決算ノ場合ニ於テ已ニ得ツル事故アリテ費用中不足ヲ生スルモノアルトキハ府縣會ハ府縣會ノ決議ヲ取リ其補充費ヲ徵收スルコトヲ得」トアリ本件ノ如キ經費決算ノ既ニ終了シタルノ今日ニ於テ之レヲ補充スルニ豫算トシテ支スルモノニアラス然レトモハヨリ昔ヲ俟タサル所ナリ若シ精算確定ノ今日ニ於テ之レヲ補充セント欲セハ豫算トシテ出テタルヘカラス然レトモ事茲ニ出テス既ニ經過シタル年度ノ經費ヲ精算確定ノ後ニ至リ之レヲ補充セント欲セハ豫算トシテ以テ二十五年度ニ於テ支出スヘキ經費豫算ニ混淆シ即チ事後ト事前トヲ區別セズ既許ト未許トヲ合一シ離散ナル經費ヲ集メ以テ單純ナル豫算追加トナシ強テ府縣會規則第一條ノ適用ヲ主張シ其隨決ヲ要求シタルハ全ク法律ノ解釋ヲ誤リタルノミナラス縣會ノ議決ヲ經ス二十三年度ニ屬スル經費ヲ悉ニ二十四年度ノ經費ヲ以テ之レヲ支拂ヒ及ヒ二十四年度經費精算確定ノ後ニ至リ其不足ヲ補充スルカ爲メ二十五年度ノ經費ヲ以テ支拂ヒタルハ本會ノ權限ヲ侵犯シタルモノナリ之レヲ要スルニ縣知事ハ專斷ニ二十四年度ノ經費ヲ支出シテ狗ホ之レヲ支出センカ爲メニ要スルノ費用ト共ニ二十五年度ノ追加豫算トヲ合同シ之レカ議案ヲ發シタルハ法律ニ背反シ及ヒ縣會ノ權限ヲ侵犯シタルモノト確認ス

縣知事ノ答辯

今般臨時會ニ對シ明治二十五年年度地方稅支出追加豫算トシテ發付シタル議案中監獄費金一万五千四百八十九圓三十三錢九厘ニシテ其內豫算細別スレハ二十四年度ニ屬スヘキ金額一万三千七百四十四圓三十五錢五厘ニ屬スル金額千七百四十四圓九十八錢四厘ナリ右過年度乃二十四年度ニ屬スヘキ經費ヲ以テ本年度追加豫算トシ之レカ議案ヲ編製シタル所以ノモノハ昨年十二月府縣會計ノ不整理ヲ感シ屬吏數名ニ取調委員ヲ命ジ嚴密調査セシメタルニ本年二月初旬ニ至リ漸ク終了シ其調査ノ結果トシテ當時ノ典獄林松其他所屬吏員ノ取扱ニ因リテ悉ニ二十四年度所屬ノ經費ヲ二十五年度ニ繰越イテ其二十四年度ノ決算ヲ了シタル事實ヲ發見セリ事實既ニ此ノ如クナルカ故ニ二十五年度ニ在テ亦願ニ不足ヲ生セリ以テ本會ハ府縣會規則第一條ニ據リ二十五年度追加豫算トシテ縣會ノ議ニ付シタルモノナリ

然ルニ縣會ニ於テハ本件ノ如キ經費決算ノ既ニ終了シタルノ今日ニ於テ之レヲ補充スルニ豫算トシテ收支スルモノニアラスコトハ固ヨリ昔ヲ俟タサル所ナリ若シ精算確定ノ今日ニ於テ之レヲ補充セント欲セハ豫算トシテ特別ノ處置ニ出テタルヘカラス然レトモ事茲ニ出テス既ニ經過シタル年度ノ經費ヲ精算確定ノ後ニ至リ之レヲ補充セント欲セハ豫算トシテ以テ二十五年度ニ於テ支

出スヘキ經費總額ニ混雜シ即チ事後トテ區別セズ既得ト未得トヲ合一シ雜敷ナル費額ヲ集メ以テ單純ナル預算追加トナシ強テ府縣會規則第一條ヲ比附援引シ專ラ同條ノ適用ヲ主張シ其議決ヲ要求シタルハ全ク法律ノ解釋ヲ誤リタルノミナラス縣會ノ議決ヲ經スニテ三年度ニ屬スル經費ヲ三年度ノ經費トシテ二十四年度ノ經費ト以テ之レヲ支拂ヒ及ヒ二十四年度經費精算確定ノ後ニ至リ其不足ヲ補充スルカガ爲メ二十五年度ノ經費ヲ以テ支拂ヒタルハ本會ノ權限ヲ侵シタルモノナリト言フト雖二十四年度ノ如キハ縣會ニ決算報告ヲ了シ其年度ノ出納ハ既ニ閉鎖シタルノ後ニ在テ發見シタルモノナレハ其行爲ノ故意ニ出ツルト否ト又費用ノ多寡トニ關ナク遂ニ過年度ノ支出ニ屬スヘキ經費タルヲ免カレズ且目今ノ時機ハ乃年度尾決算ノ場合ニ非サレハ地方稅規則第五條第二項ヲ適用シ補充費ヲ徵收スルニ由リキモトス之レヲ要スルニ過年度所屬ノ經費本年度ニ於テ支出ヲ要スルカガ爲メニ豫算ニ不足ヲ告ケタルニ付本年度ニ於テ之レヲ負擔セサルヘカラス故ニ府縣會規則第一條ヲ適用シ二十五年度追加豫算トシテ議案ヲ提シタル所以ナリ然ルニ縣會ハ審ニ特別ノ處置ニ出テサルヘカラスト言フノミニシテ其特別ノ處置トハ果シテ何等ノ處置ヲ言フ乎苟モ法律ノ見解ヲ異ニスル以上ハ山ヲ以テ適用スヘキ法律ヲ豫示セサルヘカラス附シテ之レヲ豫示ツ爲サルニ於テハ確タル解釋ヲ爲シ得サルモノト思考ス又縣會ノ議決ヲ經スシテ二十三年度ニ屬スル經費ヲ二十四年度ノ經費ト以テ之レヲ支拂ヒ及ヒ二十四年度經費精算確定ノ後ニ至リ其不足ヲ補充スルカガ爲メ二十五年度ノ經費ヲ以テ支拂ヒタルハ固ヨリ當局者ノ處理其當ヲ得サルヨリ自然ニ縣會ノ權限ヲ侵シタルノ事實ニ至リタルハ本會ノ自リ以テ其責ヲ負フ所ニシテ其權限ヲ爭ハサルモノナレハ乃相互權限ノ爭論生スルノ理由ナキモノト思考ス

聲明

本件縣知事ト縣會ト法律ノ見解ヲ異ニシ權限ヲ爭フノ要點ハ縣知事カ明治二十五年年度ノ監獄費ヲ以テ二十四年度ノ費途ニ充用シタル金額並ニ二十四年度ノ決算確定後ニ發見シタル同年年度所屬ノ未拂金額ヲ二十五年年度ノ監獄費不足額ト俱ニ同年年度ノ追加豫算トシテ臨時縣會ノ議ニ附シタルハ其當ヲ得ルヤ否ニアリ依テ審按スルニ本件縣知事ノ提シタル監獄費追加豫算ノ内九千七百十四圓餘ハ二十五年年度ノ監獄費前年度ノ支出ニ充テ隨テ生シタル二十五年年度ノ監獄費補充セントスルモノナレハ即チ二十五年年度ノ經費ニ外ナラス又未拂金額千二十九圓餘ハ二十四年度ノ決算確定後ニ發見シタルカガ爲メ二十五年度ニ於テ支出セントスルモノナリニ若俱ニ二十五年度ノ支出ニ充ツヘキ經費ナレハ之ヲ其他ノ不足額千七百十四圓餘ト俱ニ二十五年年度ノ追加豫算トシテ縣會ノ議ニ附シタルハ違法ノ處置ニアラス但縣知事カ二十四年度ノ經費ヲ以テ二十三年度ノ經費ニ充テ及ヒ二十五年年度ノ經費ヲ以テ二十四年度ノ經費ニ充テタル處置ニ付テハ縣知事其失當ナルヲ認メ縣會ト權限ヲ爭ハサルヲ以テ之レヲ規定スルノ要ナシ

判決

右ノ理由ニ依リ本件福島縣知事カ金一万五千四百八十九圓三十三錢九厘ヲ明治二十五年年度ノ追加豫算トシテ縣會ノ議ニ附シタルハ違法ノ處置ニアラス

明治二十六年四月十二日

- 審理委員長 法制局長官 末松 謙澄
- 審理委員 法制局部長 平田 東助
- 審理委員 法制局參事官 都筑 馨六
- 審理委員 法制局參事官 中根 重一
- 審理委員 法制局參事官 新波 淳六郎
- 審理委員 法制局參事官 安廣 伴一郎
- 審理委員 法制局參事官 小宮 三保松

Empty table content

○税外諸收入收入計算書ノ件(會計検査部長ロリヨ) 明治二十六年五月五日
 税外諸收入ニ關スル收入官吏管理期中收入濟金額ナキ場合ニ於ケル收入計算書提出方ノ親自今收入濟金額ナキモ未收入ノモ
 アリタルトキハ尙ホ收入計算書ノ提出ヲ要ス若シ收入未收入等ナクシテ收入計算書ヲ提出セサルトキハ關定官ニ於テ關定額明細
 書ノ備考ニ其總名收入官吏官氏名及事由等ノ附記ヲナシ又全ク關定セシモノナキトキハ其旨報告ヲ要シ候依テ右ノ趣御所管各裁
 判所へ御通達相成候様致度

Empty table content

○徴備員召集旅費ノ件(千葉縣) 明治二十六年五月四日

昨二十五年貴省令第五號陸軍召集旅費支出規程第一條及概算表様式調査項目第一項ノ豫備員ニ係ル旅費ハ召集條例ニ依リ召集スルモノナルニ依リ召集旅費(給與令中第三十七表ノ旅費額)ヲ支給ス(キ償ニ候哉又ハ徴兵入營旅費(徴兵旅費定期ノ旅費額)ヲ支給ス(キ償ニ候哉

徴兵事務條例第五十六條三項ノ職時若クハ事變ニ際シ豫備員ヲ召集スル場合ニハ郡吏員ヲシテ引率セシムル儀ニ候得共召集條例ニ依リ該員ヲ臨時召集スルトキハ右ノ手續ヲ要セサル儀ニ候哉

召集條例ニ依リ豫備員ヲ召集セラルトキハ召集令狀ハ臨時交付セラル、儀ニ候哉
(陸軍省) 指令 明治二十六年五月二十五日

第一項前段何ノ通

第二項郡吏員ヲシテ引率セシムルモノトス

第三項別ニ令狀ヲ交付セス

○内國稅徵收定額戻入要求書ノ件(大藏大臣官廳) 明治二十六年六月六日

本月二日附第一號ヲ以テ明治二十六年度内國稅徵收定額戻入要求書御送付相成候處過渡俸給ノ内製糖費納金扣除セサル額ヲ以テ戻入方御取計相成可然而シテ過納金(銀金)ハ本人ヨリ拂戻シ請求アリタルトキ過納額下戻ノ手續ニ依ル儀ト御承知有之度

○徴兵身體検査ノ件(第四師團參謀長) 照會 明治二十六年五月二十日

本月十三日附省令第八號ヲ以テ二十四年省令第五號廢止相成候右ハ全ク令第二十七條ニ該當スルモノハ身體検査施行不致精神ニ有之候處同日省令第七號ヲ以テ徴兵事務條例施行細則改正追加中ニモ別ニ検査ノ明文ハ無之候得共實際上検査施行ハ徵集上利益不尠特ニ本年ノ如キハ副令乙第三號ニ依リ稱兵上必要ニ有之候處テハ右検査施行ト否ハ師管徵兵官ノ意見ニ可被任儀ニ候哉將タ全ク検査ハ施行シ得サル儀ニ候處差掛リタル儀モ有之候ニ付至急電報ニテ御回答相成度
(陸軍省軍務局第二軍務課) 回答 明治二十六年五月二十二日(電報)

検査ノ上相當兵種ニ組入ルヘキ注意ナリ

○車輛買取甲乙兩管廳ニ交渉ノモノ取扱方ノ件(佐賀縣)開合 明治二十六年六月二十二日
 車買取與甲乙兩管廳ニ交渉スルモノ、取扱方ハ客年三月廿五七二號ヲ以テ御通牒ノ趣有之本廳ニ於テハ甲廳ハ乙廳編入濟
 通知書ノ日附ヲ押ヘテ車稅發報整理致來候處今般渡島縣ヨリ發局ヘ御協濟ノ旨ヲ別紙寫ノ通牒會有之右ハ各府廳整理上ノ便宜
 ニ從ヒ適宜取扱差支無之儀ニハ存候得共彼我全ク轉出入ノ年月日ヲ異ニシ自然取扱上錯雜ヲ來シ他日會計檢査院(證明)ニ當リ不
 突合ヲ現出スヘキ虞モ有之候ニ付本件ノ如キハ各府廳同權ノ取扱ニ相成候致度
 (大藏省主稅局)回答 明治二十六年六月二十九日
 發讓渡ノ日附ニ依リ乘ヨリ徵稅ノ管轄ヲ異ニスヘキ旨ナルニ付乙廳ニ於テハ廣島縣見込ノ通申廳ニ於テ發讓渡届ヲ受理セシ日附
 ヲ以テ轉入ノ時トシ登帳整理相成可然ト存候
 (別紙)

船車買取與甲乙兩管廳ニ交渉ノモノ取扱方ノ件(廣島縣)開合 明治二十六年五月二十七日
 船車買取與甲乙兩管廳ニ交渉スルトキ徵稅上取扱手續各府廳一定セス爲ニ行送ヲ生スルコト往々有之候ニ付本廳ニ於テハ
 此際左ノ取扱手續一定致度候得トモ如何可有之儀且御局議決定ノ上ハ各府廳ヘ御示相成候ハ、取扱方一定可致存候
 一 車買取與甲乙兩管廳ニ交渉スルトキ甲廳ニ於テ發讓渡届ヲ受理セシトキハ其日ヲ轉出トシ乙廳ヘ通知ス乙廳ハ週リ其日ヲ以
 テ轉入トス故ニ其異動納期ニ際スルモ納期限日以前ノ轉入ナレハ徵收法施行細則第三條ニ準シ乙廳ニ於テ乙者ヨリ稅金ヲ徵
 收スヘキモノトス尤モ甲廳ニ於テ轉出ノ納期ニ際スレハ其稅金ノ納否ヲ調査シ既ニ甲者ヨリ納稅済ノモノハ通知書ニ其旨ヲ
 記入スヘキモノトス此記入アルモノニ限リ乙廳ニ於テハ其稅金ヲ徵收セサルヘシ
 但車稅發報ハ乙廳編入濟ノ通知ヲ待テ週リ別除ス
 一 船舶ノ鑑札引換方乙廳ニ願出タルトキハ實買取與ノ登記簿月日ヲ以テ轉入トシ甲廳ニ通知ス甲廳ハ其登記月日ニ週リ轉出ト
 シ船稅發報ヨリ除却ス而シテ其登記月日ノ納期ニ際スルモ納期限日以前ノモノハ乙廳ニ於テ乙者ヨリ稅金ヲ徵收スヘシ尤既
 ニ甲者ヨリ納稅済ノモノハ此限ニアラス
 但納期ニ際シ徵稅令附發付セシモノ、内納期限日以前既ニ登記簿乙者ニ賣渡シタルコト判然セシモノハ假ヒ發報ハ未ダ甲
 者ノ名前ヲ存スルモ既ニ實買取與ヲ結了セシモノナレハ甲者ヨリハ稅金ヲ徵收セサルヘシ
 一 稅金ノ納否ハ納期限後ニアラサレハ判明セサルヲ以テ納期ニ際スル船車ノ異動ハ總テ發讓渡地ノ市町村長ヲシテ發讓渡ニ

明治二十六年七月 指令 大藏省

運送ノ節必ス納税ノ有無ヲ記入セシムヘキモノトス

(大蔵省主税局) 回答 明治二十六年六月二日

運テ御見込ノ通知取扱可然ト存候將又取扱上一定ヲ期スルタメ各府縣へ通知方御協同ノ處有ハ車税ニ關シテハ客年三月車税規則取扱心得書第十四項改正船税ニ就テハ本年五月坤第一二五三號ヲ以テ收税長へ通知シ置キタル次第モ有之就テハ徵稅整理上各府縣トモ大體御申越ノ旨趣ト同様ノ手續ヲ以テ取扱居候儀ト思致候間別段一般へノ通知ハ要セサル儀ト存候

○國民兵戰時名簿ニ關スル件(第五師團參謀長) 問合 明治二十五年十一月十八日

後備滿洲兵ノ戰時名簿ハ大隊區司令部服務規則第十七條ニ依リ同部ヨリ北海道廳又ハ府縣廳へ送付シ該廳ニ於テハ本年四月甲第六號ニ基キ國民兵名簿トシテ年齡四十歲迄保存スヘキ儀ニ有之候處徵兵事務條例第六十七條第二項ニ該當スル疾病傷疾ニ依リ常備後備ノ役ニ不堪國民兵へ編入スル者ニ對シテハ何等ノ明示モ無之候得共同シテ國民兵へ編入スヘキ者ニ付大隊區司令部ハ服務規則第十八條ノ兵籍ト共ニ戰時名簿ノ送達ヲ受ケ前陳同體道廳府縣へ送付可致儀ト心得可然哉否何分ノ御教示ヲ煩度 (陸軍省軍務局第二軍務課) 回答 明治二十六年四月七日

大隊區司令部服務規則第十七條但書ニ準スルヲ要セサル儀ト存候

○度貸身元保證金ノ件(北海道廳) 問合 明治二十六年七月十日(電報)

度貸身元保證金ハ日本銀行ノ預リ券ニテモ差支ナキヤ否電報回答アリタシ (農商務省商工局) 回答 明治二十六年七月十五日(電報) 差支ナシ

○保管物寄託ノ件(奈良縣) 明治二十六年七月二十一日

本年勅令第七十號ヲ以テ有價證券寄託ノ件公布相成候ニ付明治二十四年貴省勅令第五十六號ニ據リ保管物會計官吏ノ現在保管ニ係ル公債證券並ニ國立銀行預金券等モ此際右會計官吏ヨリ所在本支金庫へ寄託爲致然シテ爾後保證抵當ヲ徵スルトキハ權利者ヨリ直ニ本支金庫へ寄託該保管證書ヲ納付セシメ保管物會計官吏ニ於テ之ヲ保管スル儀ト心得可然哉 前項現在保管ノ有價證券本支金庫へ寄託済ノ上ハ保管物會計官吏ハ身元保證金ヲ要セサルモノトシ既ニ納付シタル身元保證金ハ御還付可相成哉

(大蔵省) 指令 明治二十六年八月七日

第一項現在保管ニ係ル分ト雖モ本年七月三十一日大蔵省勅令第三十九號第一項ニ依リ此際納テ營業人ヲシテ本支金庫へ寄託シ該保管證書ヲ差出サシムヘシ但主任官吏立會ノ上取締無之權注意スヘシ 第二項責任解除ノ上ハ申出ノ通

○備置儲蓄補助借家料ノ件(大分縣) 明治二十六年七月二十九日

本縣備置儲蓄施行規則ニ依リ非常暴災ノ節借家ヲ爲シ又ハ假屋ヲ掛ケ極貧ノ窮民ヲ救助スルコト有之右ノ場合ニ於ケル借家料並ニ假屋所要ノ竹木其他ノ借料ハ救助費中適宜所費ヨリ支出可然モノト相見込候得共同節ニハ入足貨運搬費薪炭油蠟燭類トノ解疎有之主要ナル借家料假屋費ノ明文無之尤モ他府縣ニ在テハ從來儲蓄費中ノ家賃其他借料ヨリ支出致居候ニ候得共是以テ救助費ト儲蓄費トヲ混同シ整理方其宜シキヲ得タルモノトモ不被存候條其相當科目御指示ニ預リ度 道テ公債證券交換受拂ノ儀ハ現金ノ收支ニ關係無之モノニ付公債證券出納ノ部ノミテ受拂ヲ爲シ候得ハ可然哉

(大蔵省國債局長) 回答 明治二十六年八月九日

借家料ハ小屋掛料ヲ支給スル者ニハ其内ヨリ差引ヲ爲シ若シ施行規則ニ於テ假小屋ノ費用ヲ別ニ支出スルモノハ小屋掛料法律ノ制限内ニ於テ支辨シ科目ノ儀ハ御見込ノ通ニテ可然存候 尙以御道書公債證券交換受拂ノ儀ハ御見込ノ通ニテ可然存候也

○保管金拂戻方ノ件(大田縣) 明治二十六年八月二十二日

明治二十三年大蔵省令第八號保管金取扱規程附屬第六號表式ノ高價ハ式ノ如ク捺印スヘキ者ノ處拾得金ノ拂渡ヲ受ケヘキ者婦女子等ニシテ幣三印形ヲ備ヘサルカ爲メ捺印スル能ハサル者ニハ花押又ハ海印ヲ爲サシメテ其拂渡ヲ爲スモ妨ケ無キ儀ト心得ヘシ

○度量衡器ニ係ル身元保証金保管方ノ件(岡山縣)同令 明治二十六年七月二十九日
勅令第七十號ニ依リ有價證券寄託ニ付其種類及取扱上懸岐ノ厘左ニ

第一項 度量衡器製作者等身元保証金ニ係ル公債證書又ハ現金國立銀行ニ預ケ入賬預リ證券ヲ以テ地方廳(納ムヘキ旨二十四年八月農商務省令第十一號第三十七條ニ規定有之候處)今同勅令ニ依リ右ノ内公債證書ノ手續ハ自然消滅シ保管金取扱規定ニ據リ寄託通知書ヲ以テ預金局(寄託セムヘキモ)ニ候儀

第二項 現金預ケ入タル國立銀行預リ證券ハ今同勅令ニ基テ有價證券ノ範圍内ノモノニ無之結果シテ然ラハ是迄ノ通物品會計官更ニ於テ保管スヘキノ處右ニテハ一亦同様ノ手續ヲ要シ就中公債證書價格送金銀行預リ證券ヲ以テ納ムル向モ有之取扱上困難ニ付等シク有價證券ト同様寄託致シ可然儀
(農商務省附工局)同令 明治二十六年八月二十九日

度量衡法施行規則第三十七條ニ依リ貴廳ニ於テ保管可相成身元保証金ノ備通貸及公債證書ニ對スル國立銀行ノ預リ證券ハ總テ有價證券ト雖認存候ニ付明治二十六年七月勅令第七十號ニ依リ大藏省預金局(寄託セム貴廳ニ於テ保管相成可然被存候)

○度量衡器ニ係ル身元保証金保管方ノ件(大阪府)同令 明治二十六年八月七日
客年十一月三號四八〇號ヲ以テ度量衡器ノ製作及販賣免許者ノ身元金ニ對スル銀行預券保管方ハ便宜取扱可然儀云々ノ件何出候處同月二十六日附第三六四一號ニテ何ノ通テ御指令有之候ニ付右預券ハ便宜保管致來候處今般勅令第七十號發布相成候ニ付テハ右度量衡器ニ關スル身元金預リ券ノ如キハ度量衡法施行規則第三十七條ノ規定モ有之候ニ付右勅令ニハ包含セズ矢張前御指令ノ手續ニ依リ保管可致モノニ候處若シ勅令ノ規定ニ依ルモノトモハ通貸ト公債トノ預ケ入レニ對スル預リ券ノ區分ナク預金局ニ寄託スル儀ニ候儀

(農商務省附工局)同令 明治二十六年八月二十九日
(同令文岡山縣ト同シ)

○度量衡器ニ係ル身元保証金保管方ノ件(茨城縣)同令 明治二十六年八月十五日
本年七月八日勅令第七十號ヲ以テ有價證券寄託ノ儀公布相成候ニ付テハ二十四年八月勅令第十一號度量衡法施行規則第三十七條ニ揭クル身元保証金ノ内公債證書ノ儀ハ明治二十三年三月大藏省令第八號保管金取扱規程第四條ニ依リ權利者ヨリ金庫(拂込メ七其保管證書ヲ納付セシムル順序ニ可有之カ果シテ然レハ通貸ニ於ケルモ同様ノ順序ニアラサレハ權衡ヲ得サルモノ、如ク被

明治二十六年九月 指令 農商務省

存款アハ既ニ國立銀行(預入タル公債證書及現金ハ此際更ニ金庫へ拂込マセ可然ヤ
(農商務省農工局)回答 明治二十六年八月二十九日
(回答文岡山縣ト同シ)

○保管有價證券拂戻ニ對スル證明書ノ件(長崎縣收稅長)問合 明治二十六年九月五日

去ル明治二十三年五月貴省令訓令第九十號ヲ以テ金庫ヨリ提出シタル保管金若クハ預金ノ元利金等現金ノ拂戻ニ係ル對照表證明上
ノ邊規定有之候處有價證券拂戻對照表ノ證明ニ就テハ別ニ明文ナキモ仍ホ現金ノ拂戻同様該訓令ニ準據證明可然トハ存候得共爲
念此段及御問合候

(大蔵省預金局)回答 明治二十六年九月十五日(電報)

問合ノ通

○證券印稅規則ニ係ル件(東京府)問 明治二十六年九月十四日

南法申本年七月一日ヨリ施行ノ部分ニ於テ證券印稅規則ニ據リ印紙ヲ貼用ス(キ證書帳簿及其種類並ニ印紙貼用ニ及ハサルモノ
トノ區分等左記ノ通取扱可然歟

印紙貼用ヲ要スルモノ

一 會社設立ノ契約證書

合名合資會社ヲ設立セント欲スルトキハ南法第七十七條ニ依リ總社員ノ連署セル契約書ヲ調製セサルヘカラス

右ハ稅則第二條第一類結社約定書ノ印紙ヲ貼用ス(キモノト認ム

二 株式申込簿

南法第六十一條ニ株式ノ申込ヲ爲スニハ申込人其引受タル株式數ヲ株式申込簿ニ記入シテ之ニ署名捺印ス云々トアリ而テ申
込人ハ株式ノ申込ニ因リテ拂込ヲ爲スヘキ義務ヲ負フコトハ第六十二條ニ依テ明カナリ故ニ此帳簿ヲ契約ノ證明ニ用ユル
證書ノ帳簿ト爲シタルコトハ敢テ疑ナキカ如シ

右ノ帳簿ハ取ニ申込ノ株式數ヲ記載スルモノニ付第一類ノ金高記載ナキ契約書トシテ帳簿ニ申込人ヲシテ登錄ノ印紙ヲ貼用セシ
ム(キモノト認ム
三 株式申込限證書

是ハ遠隔ノ地方ニ在ル申込人ヨリ發送スル株式申込書ニシテ其印紙貼用方ハ前項ニ同シキモノト認ム

四 株券

稅則第二條第一類中ニ明文アリ

五 假株券

株券ト效用ヲ同フスルモノニ付前項ニ依リ印紙貼用ス(キモノト認ム

六 手形及小切手

稅則第二條ニ明文アリ

印紙貼用ニ及ハサルモノ

一 會社定款

定款ハ獨ラ規則書ノ如キモノニ付印紙貼用ニ及ハサルモノト認ム

二 株主名簿

是ハ株主ノ姓名及各株主カ拂込ミタル金額ヲ記載スル帳簿ニシテ拂込金ノ證明書類ニ非サルハ勿論拂込金ニ對スル取證書ハ
別ニ其時々發スルモノナレハ本帳簿ハ一ノ記載帳ニ過キス依テ印紙貼用ニ及ハサルモノト認ム

三 商業帳簿

本帳簿ハ南法第三十一條ニ規定スルカ如ク日々其取扱タル取引他人トノ間ニ成立テタル自己ノ權利義務受取又ハ引渡タル
商品支拂又ハ受取タル金額ヲ整理且明瞭ニ記入スルモノナリ是レ即チ普通商家ニ於テ慣用スル大帳簿ノ完備セルモノニ過キ
ス但合手方ニ於テ其記入ヲ援用シタル場合ノ如キ一ニノ例外ニ於テハ記入者ノ利益トナルヘキ證據力ヲ有スルコトアルモ大
體上契約ノ證明ニ用ユルモノト云フヲ得サルニ付印紙貼用ノ限リニアラサルモノト認ム

(大蔵省)指令 明治二十六年九月二十六日

總テ申出ノ通心傳ヘシ

○集合仕拂命令ノ件(愛知縣) 明治二十六年九月二十一日
 金庫所在地ニアル各債主ニ集合仕拂命令ヲ發シタル後他府縣(轉居ノモノアル場合ニ際シ取扱ノ件本月十一日天四外第一八八號ヲ以テ相商候處同十四日第一五九六號ヲ以テ送金ノ裏書アル集合仕拂命令發付後債主轉居ノモノアルトキノ取扱手續御指令相成候然ルニ何ノ趣旨タル金庫所在地ノ債主ニ集合仕拂命令發付後該債主中金庫所在地外トテ下ト平(轉居セシ場合ニ際シ送金ノ手續何出タル儀ニ候得共御指令面ヲ以テ何ノ趣旨ニ適セサル説ニ被老候就テハ前額ノ如キ金庫所在地ヨリ所在地外ニ轉居ノ場合ト雖モ或ハ御指令ノ通知取扱儀ニ候爲念再此段相商候也
 (大藏省)指令 明治二十六年九月二十九日
 自今送金ノ裏書ナキ分ニ對シテハ金庫ニ於テ特ニ送金ノ取扱ヲナサハル儀ト心得ヘシ

○逓信費目番號ノ件(岡山縣) 明治二十六年九月二十一日
 御省所轄電信社敷地手當金ノ准仕拂取扱順序ニ依リ會計主務官ニ於テ開製スル支出計算書中目番號ノ義ハ二十五年ニ於テハ年度ノ始メニ當リ款項目御運送行之候處二十六年度分ハ未タ何等ノ御通知無之右ハ二十五年ノ通知得可然乎
 (逓信省財務課)回答 明治二十六年十月二日
 本年度ニ於テモ二十五年同様第三款逓信費第三項逓信事業費第一目電信線路保守費ト記帳有之度

○諸拂戻金債主其他ノ件(宮山縣) 明治二十六年九月二十日
 第一 金庫へ納付シタル國稅金ニ過額納アリテ拂戻ヲ要スルトキハ會計法第十五條ノ債主ハ派テ納稅本人トスヘキヤ又ハ地租及明治二十三年勅令第三十三條ニ依リ市町村ノ納付シタル國稅金ニ在テハ市町村制發布以後ハ市町村長其他納稅人ノ直納又ハ國稅徵收法發布以前舊區戸長ノ取扱ニ係ル國稅金ニ在テハ納稅本人ト區分スヘキヤ現在ノ市町村ハ即チ舊區戸長ノ事務ヲ繼承シ又國稅徵收法十九年附令第三號收入繰出納規則ト納稅ノ責任ニ於テ區分判明トモ雖認然共強テ區分アリトスルトキハ現今ノ市町村ニシテ其拂戻ヲ受ケタル過額納金ヲ過額意圖ニ依リ亡失シタルトキハ之ヲ辨償ノ義務ヲ負擔シ又避クヘカラサル儀災ニ罹リ亡失シタルトキハ責任免除ノ所願ヲ爲スヲ得ヘキ哉
 第二 本縣ニテハ前項前段ノ如ク正當債主ヲ派テ納稅本人トス然レトモ地租ノ如キ多數ノ債主ニ對シ各區ニ時々支拂命令ヲ發スルトキハ官民共ニ不審易手取ニ涉リ煩ニ不堪ヲ慮リ地租及勸令ニ依リ徵收スヘキ國稅金ノ過額納ニ限リ之カ請求ハ便宜上債主則チ納稅本人ヨリ市町村長ニ市町村長ハ相當調査ヲ爲シ更ニ請求書ヲ作り所在直間稅分發ニ提出シ過額納金ヲ請取リ債主へ交

付スヘキ手續ヲ去ル二十四年縣令ヲ以テ規定シ同年八月十七日付内務第一〇二號ヲ以テ及御報告置候通り現今マテ取扱來候
前項解釋ノ結果ニヨリテハ爾後自然訂正ヲ要スヘキ儀ニ候哉
右差掛疑義有之候ニ付至急何分ノ御指揮相成度

(大藏省)指令 明治二十六年九月三十日

- 一 第一項中市町村制施行前ニ屬スル過渡期拂戻金ニ對シテハ納稅本人ヲ債主トス其以後ニ於テハ中段何出ノ通
但市町村長ヲ正當債主トシテ支拂ヲナシタル後亡失セルカ如キ場合ニ於テハ政府ハ之ニ關與スルノ限ニアラス
- 一 第二項前項ニ據リ取扱フヘシ

○度量衡器檢定ニ關スル件(東京府)例 明治二十六年九月三十日

一度器ニ片目ハ尺若クハ「メートル」目ヲ盛リ他ノ片目ハ「ヤード」目ヲ盛リタルモノ、釐尺ト尺若クハ「メートル」目ヲ盛リタルモノ、曲リ尺ニ「メートル」目ヲ盛リタルモノハ度量衡器ノ種類外ナルヲ以テ製作スヘカラサルモノナルヤ
一 又蒸餾ト秤秤トヲ兼ネタル構造ノモノ、雜碎ニテ其ト冠ト二段ニ目盛シ且指針ヨ各別ニアルモノ、檢定料ハ各別ニ之ヲ檢定スルモノナルヲ以テ其料金モ各別箇ノモノト見做シテ之ヲ徴收スヘキモノナルヤ

(農商務省)指令 明治二十六年十月十四日

- 第一項尺若ハ「メートル」目ト「ヤード」目トヲ盛リタル度量器及曲リ尺ニ「メートル」目ヲ盛リタル度量器ハ例ノ通
釐尺ト尺若ハ「メートル」目ヲ盛リタル度量器ハ製作スルモ差支ナシ
- 第二項例ノ通

○債權通知ニ付處分方ノ件(靜岡縣)例 明治二十六年十月十一日

諸拂戻及缺損補填金等送金ノ仕拂命令ヲ發付シ規定ノ領收證書ヲ交付セル後該證書ヲ紛失シ之カ手續ノ面倒ナルカ爲該債主ヨリ
棄權ノ書面ヲ提出シタルモノアリ此場合ニ於テハ政府ハ仕拂ノ義務消滅シ該金ハ政府ノ所得トシ仕拂命令官於テ直ニ歳入ヘ編
入ノ處分取許可然該債主ハ編入ノ手續ハ二十三年十月十六日或ハ會計法第十八條ニ依リ滿五箇年ノ期間免除ヲ待テヘキ儀ニ有之
候哉

(大藏省)指令 明治二十六年十月二十日

前段申出ノ通但本文ノ場合ニハ其郡縣事實ヲ具シ本大臣ノ認可ヲ經テ處分スル儀ト心得ヘシ
○拾得金ニ關スル件(鳥取縣)例 明治二十六年十月二十三日

人民拾得金ノ義ハ届出後滿一年內其物主分明セサルトキハ拾得者ニ下附スル成規ニ有之候處此等ノ金額ハ概ネ些少ノモノト申入
九ニ居リ殊ニ遠隔ノ人民ニアツテハ該金受領ノ爲往復旅費ヲ要スルヲ以テ收支相償ハサルヨリ其下附ヲ望マサルモノ往々有之此
場合ニ於テハ保管金規則ニヨリ三十箇年間官ニ保管ノ後ニ非ラザレハ歳入ニ編入スルヲ得ス如斯長年月間保管スルトキハ其數年
年相加ハリ實際取扱上煩雜ヲ極メ不便不敷候ニ付最初拾得届出ノ際拾得者ニ對シ後日物主分明セサルトキハ給與ヲ受クルノ意思
アリヤ否ヲ問ヒ其給與ヲ欲セサル者ハ棄權ヲ表明セシメ置キ一箇年經過後ハ直ニ金庫ヘ通知シ歳入ヘ編入候様致度御差支無之候
ハ、金庫ヘ御令送相成度

道ヲ漂流物公賣代金及遺失物公賣代金ノ義モ拾得金ニ準シ取扱度候

(大藏省)指令 明治二十六年十一月一日

人民拾得金拾得者ニ於テ棄權ノ分歳入ヘ編入ノ件間屆候條該金ニ對スル領收證書ノ番號金額拂込年月日及政府ノ所得ニ歸シタル
事由ヲ記載シ金庫ヘ通知スヘシ

○拾得金ニ關スル件(大阪府)例 明治二十六年十一月一日

人民拾得金等ニ對シ規則上ノ給付ヲ受クヘキ者ニ於テ其權利ヲ拋棄シタルニ由リ政府ノ所得ニ歸シタル旨ヲ以テ該金ニ對スル領
收證書ノ番號、金額、拂込年月日ヲ記載シ取扱官ヨリ通知アリタルトキハ金庫ハ預金保管物及供託物金庫出納事務規程第五號書
式ノ保管金時效調查ニ之ヲ追記シ報告スヘシ

○也田兵志願者ニ係ル件(大阪府)指令 明治二十六年十一月十四日
 也田兵志願者中本人又ハ家族ノモノヲ差クニシテ入籍後一箇年ヲ経サルモハ召募規則第九條第二項及第五項ニ據リ採用不相成管
 ニ候處其期限計算方同規則中何等明文無之右ハ召募年ノ四月一日ヲ以テ分界トナス(キ)候ニ候哉
 (陸軍省軍務局第二課)回答 明治二十六年十一月十六日
 御見解ノ通ト存候

○租税收入計算證明ノ件(茨城縣)照會 明治二十六年十一月八日
 今般地方官制改正ニ依リ來ル十二月一日ヨリ直税分署ヲ廢シ收税署ヲ置カレ候ニ付テハ直税分署收入官吏ニ於テ從來取扱タル
 會計事務ハ會計規則第九十九條ノ規定ニ從ヒ此際證明セシム(キ)ハ勿論ニ候得共其收入官吏ハ直税分署ヨリ收税署ニ轉勤スルニ
 止マリ此際交替スルニテアラサレハ責任上格別變更スル處ナキヲ以テ單ニ職名ノ改稱ト視做シ二十六年度租税收入ニ關スル會計事
 務ハ會計規則第九十條ノ手續ヲ爲サス收税署收入官吏ヲシテ一括證明セシム度御差支ノ有無御回報相煩度
 (會計検査院部長)回答 明治二十六年十一月十八日
 御意見ノ通ニテ差支無之候

○衡器檢定方ノ件(東京府)訓 明治二十六年十一月十四日
 衡器ノ構造ニシテ秤ニ目盛ナク標端ニ垂皿アリ別ニ掛置十瓦ヨリ百瓦(十斤)ニ至ル七箇ノ鐘ヲ備アル器物ノ檢定請來付之候
 處是等器物ノ檢定規定無之ニ付檢定規程ヲ採用シ左ノ手續ニ依リ檢定シ差支無之候
 構造ノ檢査中
 十瓦ヲ以テ最少目盛ニ準シ秤量ニ對シ二千分ノ一以内タルヲ要ス
 秤量ノ外最少鐘ノ掛置ヲ感量トシテ表記スルヲ要ス
 十七箇ノ鐘ハ悉ク施行規則ニ所附鐘トシテ檢査ス
 器物ノ檢定法

檢定規程第二十六條第一項ノ檢査ニ合格ナルトキハ鐘ヲ少許ノ分ヨリ漸次大量ノモノニ及ホシ各別ニ標端ノ垂皿ニ懸ケ又之
 ヲ悉皆同時ニ標端ノ垂皿ニ懸ケ毎時之ニ相當スル分銅ヲ置ニ置セ平等ヲ得ルトキハ最少鐘相當ノ分銅ヲ置ニ加ヘ其感動ヲ檢
 ス
 前項檢定中十瓦ノ鐘ヲ垂皿ニ懸ケタルトキ之ニ相當スル分銅ヲ逐次置ニ四箇ニ移置シ其程度平等ヲ得ルカ若クハ平等ヲ得サ
 ルモ最少鐘ノ二分ノ一ニ相當スル分銅ヲ増減シテ平等ヲ得タルトキハ合格トス
 檢定料ハ秤秤トシテ之ヲ徴ス

(農商務省)指令 明治二十六年十一月三十日
 第二回檢査ニ於テハ増鐘ナキ秤秤ト見做ス(キ)

直點ノ檢査ニ於テハ垂皿ヲ直點ニ懸ケ檢定規程第二十六條第一項ノ手續ニ從ル(キ)
 目盛ノ檢査ニ於テハ最小鐘ノ掛置ヲ最小目盛ノ置トシ秤ノ全掛置ヲ停止ノ置トシ檢定規程第二十六條第二項ノ手續ヲ適用ス(キ)
 感量ノ檢査ハ檢定規程第二十六條第三項附鐘ナキ秤秤ノ例ニ依ル(キ)

○收入報告書同總報告書調製方ノ件(司法大臣官房會計課)照會 明治二十六年十二月六日
 客月二十日貴省令第三十二號ヲ以テ明治二十二年貴省令第十一號ノ附計算書杜拂命令領收證及諸帳簿様式改正相成明治二十七年
 一月一日ヨリ施行ト有之候處收入報告書同總報告書類ノ本年十二月分ニシテ明年一月ニ至リ提出スルモノハ改正ノ様式ニヨル(キ)
 中ヤ或ハ舊式ヲ以テ調製ス(キ)カ省令中判明不致候ニ付一應及御照會候

○大藏省主計局 回答 明治二十六年十二月十三日
二十七年一月一日以降調製ノモノト雖モ十二月分ニ係ル收入報告書既ニ收入總報告書ハ總テ従前ノ書式ニ依リ調製スル儀ニ有之尤同月分ニシテ二十七年一月分ニ到達セズ一月分以降ノ收入總報告書ニ掲載ヲ要スルモノアルトキハ改正書式ノ收入總報告書ヘ組入調製相成差支無之儀ト存候

○度量衡器檢定方ノ件(東京府) 明治二十六年十一月二十日

一 度量衡法實施以前ニ檢定セル度量器ニシテ片口ニ尺ヲ盛リ他ノ片口ニメートルヲ盛リタルモノアリ是等ハ同法第二千條ニ所附從來ノ度量衡器ナルヲ以テ之ヲ販賣シ若クハ之ヲ購買シ尺ノミヲ使用スルニ於テハ差支無之儀又「メートル」ニ對シテハ檢印ノ效力無之モノニ付新法實施ト共ニ更ニ檢定ヲ受クヘキモノニ候哉
一 直尺ノ同一段ノ一方ニ尺ヲ盛リ他ノ一方ニ「メートル」ヲ日盛シタル器物ヲ製作販賣シ差支無之儀果シテ然ラハ檢定料ハ二段ニ徴收シ各部分ニ全長ヲ表記セシメ凡テノ全長ハ相通算シテ七尺以下(七尺キカニ依リ)タルヲ要スヘキ儀ニ候哉
(農商務省) 指令 明治二十六年十二月十一日
一 第一項度量衡法實施以前ニ檢定セル度量器ニシテ「メートル」系ノ日盛ヲ施シタルモノハ該法ノ規定ニ依リ其部分ノ檢定ヲ受クルニ非サレハ之ヲ販賣シ若クハ使用スルコトヲ得ス
一 第二項前段及後段檢定料ノ徴收方並全長ヲ表記方何ノ通り全長ハ兩種通算セス各種別箇ニ之ヲ算スヘシ

○陸軍召集旅費支出規程ニ關スル件(德島縣) 明治二十六年十二月十三日

今般地方官官制改正ノ結果トシテ従前直稅若クハ間稅分署長ニ於テ取扱フ所ノコトハ收稅署長之ヲ取扱候ニ付明治二十五年三月貴省令第五號召集旅費支出規程第八條中直稅分署長又ハ間稅分署長ヲ以テスル現金前渡ヲ受ク可キ官吏ノ事務ハ其市所在ノ收稅署長ヲシテ取扱可然哉
(陸軍省軍務局第二軍事課) 回答 明治二十六年十二月十九日
御意見ノ通り有之候

○恩賞諸條等仕拂命令事務取扱ノ件(京都府) 明治二十六年十二月五日

大藏省所管經費ノ内恩賞諸條諸拂戻及缺損補填金ニ係ル仕拂命令官事務取扱ノ儀ハ官制上別段ノ規定無之候得共從來ノ慣行ニ依リ内務部第四課ニ於テ取扱而シテ命令官印章ノ儀ハ内務部取扱ニ係ル内務省所管經費等ノモノハ直稅署取扱ニ係ルモノトハ印影ヲ與ナラシムルヲ以テ前課兩款ニ關スルモノハ直稅署ノ分ヲ押捺爲致來候處先般會計規則中改正ニ付今般大藏省訓令第三十九號ヲ以テ金庫出納事務規程改正相成候其第二十三條及大藏省訓令第四十號第八條等ノ旨趣ニ依リ該事務取扱ノ儀ハ來ルニ十七年一月以降收稅部ニ於テ取扱候儀ニ可有之儀哉
(大藏省) 指令 明治二十六年十二月二十二日 (内務省連帶)
内務部ニ於テ取扱ヘキ儀ト心得ヘシ

○會計主務官ノ概算支出金證明方ノ件(選信大臣官房財務課) 明治二十六年十二月二十二日

本年勅令第百十二號ヲ以テ會計規則改正ニ相成候テハ既ニ會計主務官ノ概算支出金ニシテ來ル二十七年一月一日以前ニ精算ノ運ヒニ至ラサルモノハ會計主務官ヨリ未精算額ヲ支出ノ月別ヲ以テ仕拂命令官ニ引續仕拂命令官ハ自身ノ調製スヘキ概算渡内際相當月別ノ欄ニ掲載而シテ備考ニ會計主務官ヨリ概算ノ旨記載ノ上提出致差支無之儀
(會計検査院第三部長) 回答 明治二十六年十二月二十六日
御來意ノ通り可然儀ト存候

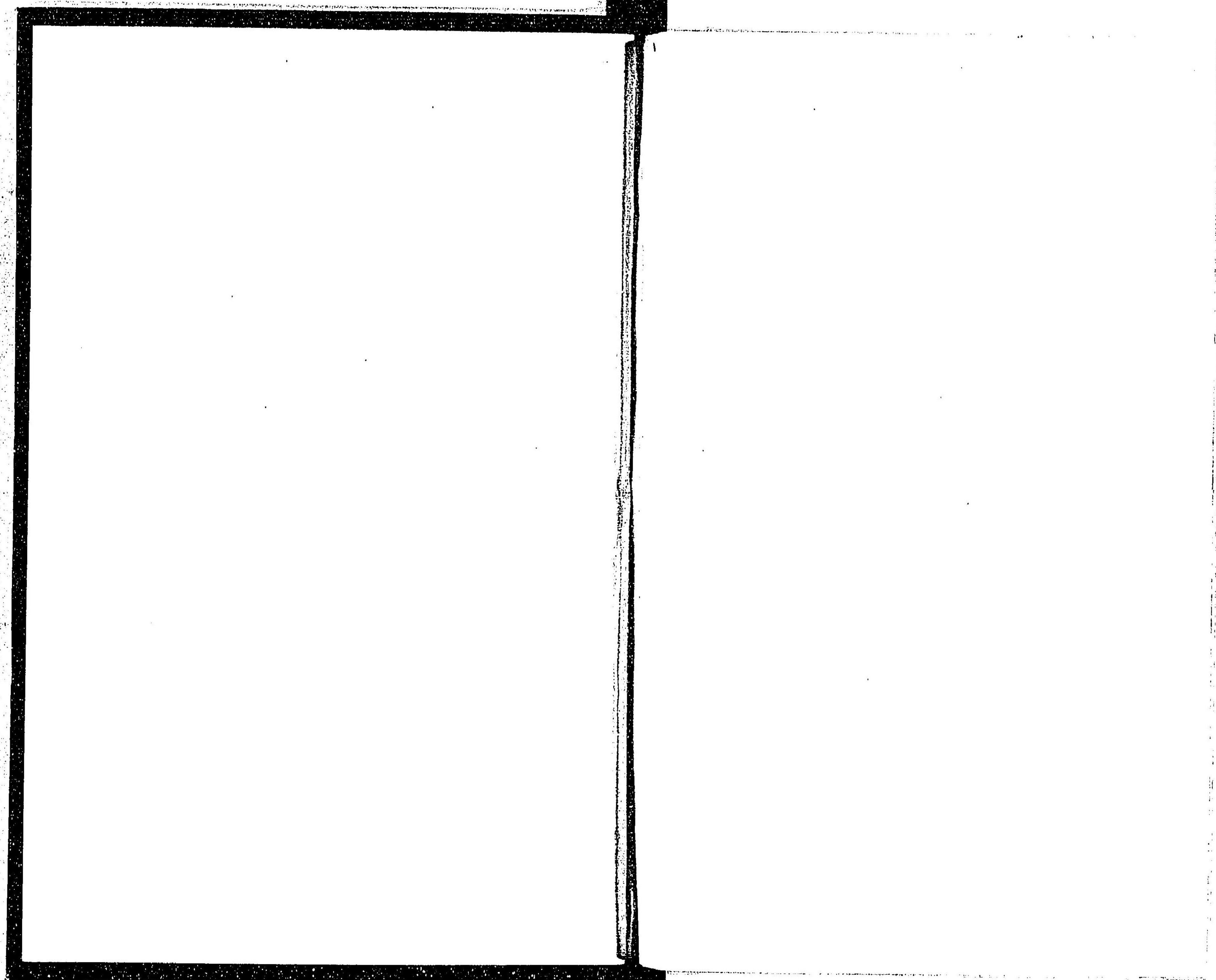
○收入官吏證明方ノ件(岡山縣) 明治二十六年十二月十八日

本年勅令第百十二號ヲ以テ會計規則第九十八條第二項追加セラレ分任收入官吏ハ別ニ計算書ヲ提出セサルコトニ改定相成候ニ付テハ二十六年度租稅ニシテ來ル明治二十七年一月一日以降ニ係ル分任收入官吏ハ同規則第九十五條ニ據リ主任收入官吏ニ於テ證明(收入證明書)ヲ提出スルニ付(收入證明書)ニキニ付同年度分ニシテ従前ノ收入官吏ニ於テ二十六年十二月末日マテ執行シタル會計事務ハ同規則第九十九條ニ掲載シ一旦打切證明セシムヘキヤ
(會計検査院第一部長) 回答 明治二十六年十二月二十七日
従前ノ收入官吏ニシテ引續キ分任收入官吏トナリタルモノハ總テ其計算主任出納官吏ノ計算書ニ併算證明ヲ要スル儀ニ有之候

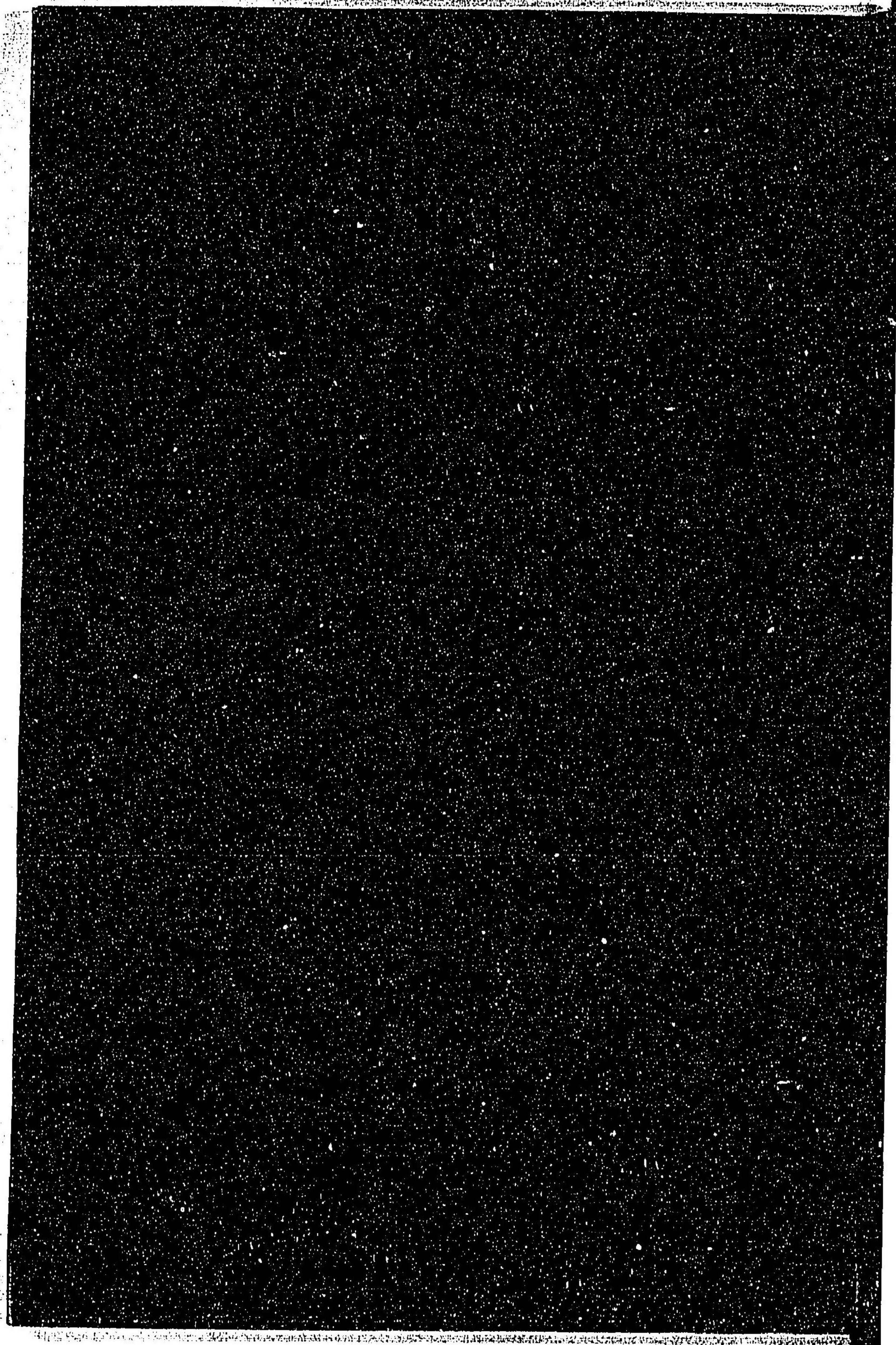
46

明治二十六年十二月 指令

三八







031130-046-1

CZ-4-1

法令全書 慶応3年10月-明治45年7月

内閣官報局

M20-45

BBC-1005



